

企業の台湾進出支援

琉銀 コンサルと業務提携



琉球銀行（川上康頭取）

は24日、台湾などでコンサルタント業務を行う「Sokawa」と業務提携を結んだと発表した。台湾での事業展開を目指す県内企業を両社でサポートし、販路や事業の拡大につなげる。

県内企業の台湾進出支援で業務提携を結んだ琉球銀行の伊志嶺達朗・法人事業部長（右）とSokawaの畠中則和代表。24日、那覇市の琉球本店

Sokawaは台湾に拠

点を持ち、日系企業や自治体、団体などが台湾で事業展開をする際の業務支援で実績を残している。近年は台湾と沖縄の交流が進み、県内企業が台湾で事業展開を計画するケースが増えていくという。琉銀は台湾進出を考える県内企業を後押しするため、Sokawaと業務提携を結んだ。

今後は台湾進出を考える

企業のほか、台湾に進出しており、さらなる業務拡大を目指す企業を琉銀とSokawaが協力して支援する。支援内容は連携する事業者の紹介や市場調査、アドバイザー業務、通訳・翻訳サポートなど。

琉球銀行の伊志嶺達朗・法人事業部長は「台湾との交流が深まってビジネスの結び付きも太くなっている。台湾進出を考える企業の不安を取り除きたい」と提携の狙いを説明した。Sokawaの畠中則和代表は「沖縄の企業は恐れることなく台湾への一歩を踏み出してほしい」と呼び掛けた。